

令和3年度 釜石市立鶺住居公民館運営計画

I 運営方針・重点目標

1. 基本方針

地域住民が公民としてのモラルや社会性を高め、積極的に社会参加や社会貢献する土壌を形成し、学ぶことを通して生きがいを見出し、地域課題や生活課題の解決に向けて地域づくりを進めるための拠点として公民館を位置付ける。

令和3年度は、東日本大震災から10年が経過し地震等の自然災害に備えた防災、新型コロナウイルス感染予防を徹底し、新しい生活様式の下、地域住民の参画を促し学び続けることが出来るような公民館事業の実施に努め、より良い地域のコミュニティづくりに貢献する。

2. 重点目標

- (1) 地域住民が様々な自然災害について正しく理解し、防災意識を高めつつ安全安心に暮らすことができるような事業展開に努める。
- (2) 地域住民の各世代のニーズに応え、事業実施に努める。
- (3) 地域課題や生活課題の解決を図ることを目的とした事業実施に努める。
- (4) 地域住民が自発的に行うサークル活動を支援する。
- (5) 地域の各分野で活動している者が有機的に連携できる機会を創出する。

II 事業計画

1. 乳幼児を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの子育てへの支援	鶺住居子育て広場	親子が集い仲間をつくり、育児不安を解消する。	保健講話、計測(身長・体重)、おもちゃ遊びなど 〔時期〕年3回 〔場所〕鶺住居子育て支援センター 〔対象〕未就学児と保護者
	【成果と課題】		

2. 学齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
地域ぐるみの子育てへの支援	わんぱく子ども教室	交流・学び・気づきの場を設ける。	〔時期〕年2回予定（夏季・冬季休暇） 〔場所〕鶺住居公民館等 〔対象〕小学生
	【成果と課題】		

	釜石東中学校 学習サポート	目標に向かって学び続ける土壌を育むため、受験対策を目的とする学習機会を提供する。	〔時期〕 年2回予定（夏季・冬季休暇） 〔場所〕 釜石東中学校 〔対象〕 釜石東中学校生徒
【成果と課題】			

3. 成人期・高齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
成人及び高齢者の健康づくり	各種健診等の推進	健康教室等の事業や公民館だよりに掲載し、各種がん検診、特定健診等の受診勧奨や指導を行う。	〔時期〕 随時 〔場所〕 鶴住居公民館等 〔対象〕 鶴住居地区住民
	あつまれ！鶴住居の杜	地域に安定した交流機会をもち、閉じこもり予防、心身の健康と学びの機会を設ける。	〔時期〕 毎月1回（第4木曜日予定） 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民
	健康教室	交流・学び・気づきの場を設ける。	①桑の浜健康教室 〔時期〕 3か月に1回開催 〔場所〕 桑の浜集会所 〔対象〕 桑の浜地区民 ②室浜健康教室 〔時期〕 計7回開催予定 ※市は4回、体育協会3回 〔場所〕 室浜集会所 〔対象〕 室浜地区住民 ③仮宿健康教室 〔時期〕 年1回（6月頃） 〔場所〕 鶴住居公民館仮宿分館 〔対象〕 仮宿地区住民 ④女遊部健康教室 〔時期〕 年1回（6月頃） 〔場所〕 女遊部集会所 〔対象〕 女遊部地区住民 ⑤両石健康教室 〔時期〕 年2回（6月頃、2月頃） 〔場所〕 両石復興住宅集会所 〔対象〕 両石地区住民 ⑥白浜すいすい会 〔時期〕 月2回（第1、第3水曜日） 〔場所〕 箱崎白浜集会所 〔対象〕 箱崎白浜地区住民
	【成果と課題】		
	おさんぽの会	健康づくり・生活習慣病等の知識の啓発及び運動機会を提供する。	〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 長内集会所近辺 〔対象〕 鶴住居地区住民

	【成果と課題】		
	各種百歳体操の会	100歳体操の効果と集いの場の創出の観点から参加者主体での実施を支援する。	①鵜住居復興住宅2号棟 イケイケ会 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 鵜住居復興住宅2号棟集会室 〔対象〕 鵜住居復興住宅2号棟の周辺住民 ②箱崎地区 ほっぴすてっぴくらぶ 〔時期〕 毎週水曜日 〔場所〕 箱崎集会所 〔対象〕 箱崎地区住民 ③片岸きらきらクラブ 〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 片岸集会所 〔対象〕 片岸地区住民 ④いきいき鵜住居 〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 鵜住居地区住民 ⑤桑の実クラブ 〔時期〕 毎週金曜日 〔場所〕 桑の浜集会所 〔対象〕 桑の浜地区住民 ⑥ニコニコ室浜 〔時期〕 毎週火・金曜日 〔場所〕 室浜集会所 〔対象〕 室浜地区住民 ⑦白浜すいすい会 〔時期〕 隔週水曜日 〔場所〕 箱崎白浜集会所 〔対象〕 箱崎白浜地区住民 ⑧川目笑生会 〔時期〕 毎週火曜日 〔場所〕 鵜住居公民館川目分館 〔対象〕 川目地区住民
	【成果と課題】		
芸術文化活動の推進	ふるさと探訪	地域の自然、歴史や文化を知り、地域の資源を再認識する機会を提供する。	〔時期〕 年2回予定 〔場所〕 未定 〔対象〕 鵜住居地区住民
	【成果と課題】		
	鵜住居交流講座	地域住民の生涯学習意欲高揚、自発的活動のきっかけを作る。	手芸や工芸などの幅広い分野の講座を開催する。 〔時期〕 年2回予定 〔場所〕 鵜住居公民館 〔対象〕 鵜住居地区住民
	【成果と課題】		

	出張公民館事業	鶺住居公民館まで足を運ぶことが難しい地域を対象に、地域住民等の交流を図る。	館外研修や地区集会所等を活用した講座を開催する。 〔時期〕年2回予定 〔場所〕未定 〔対象〕鶺住居地区住民
	【成果と課題】		
	鶺住居の歴史を語る会	昔の鶺住居を思い出し語り合うことで、参加者の交流を図るとともに、重要な歴史資源を残し、語り継いで行く。	〔時期〕年3回（9月、10月、11月予定） 〔場所〕鶺住居公民館 〔対象〕鶺住居地区住民
【成果と課題】			
男女共同参画の推進	男の手料理教室	男性の交流機会の一つとしながら、健康づくりや食生活の改善を進めることを目的とする。	講師による指導と自主活動を隔月で行う。 〔時期〕毎月1回 〔場所〕鶺住居公民館 〔対象〕鶺住居地区の男性
	【成果と課題】		
高齢者の生きがいづくり	実年ひろば	年間で複数回の学習内容を自ら決定して自主的な生涯学習活動に取り組むものとし、住民同士の交流や、生涯学習意欲の向上に資することを目的とする。	手芸・料理など「趣味による生きがい」づくりにつながる講座を開催する。 〔時期〕年3回予定 〔場所〕鶺住居公民館など 〔対象〕鶺住居地区の女性
	【成果と課題】		

4. 地域や世代を超えた取り組み

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
芸術文化の推進	うのすまい公民館まつり	公民館利用団体の発表の場とし、鶺住居地域住民の生涯学習意欲向上を目的とする。	〔時期〕11月上旬予定 〔場所〕鶺住居公民館 〔対象〕鶺住居地区住民ほか
	【成果と課題】		
交流の場の創出	鶺住居公民館・栗橋公民館交流事業	手芸・工芸体験教室やニュースポーツ運動会を通じて、隣接する両地区の住民の交流・親睦を深める。	手芸・工芸体験教室、ニュースポーツ等による地域交流を開催する。 〔時期〕年2回予定（※） 〔場所〕鶺住居公民館等 〔対象〕鶺住居・栗橋地区住民
	【成果と課題】 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催見送り		
	鶺住居地域交流会	新たな地域に定着した事業を目指し、幅広い年齢層を対象として交流を図る。	鶺住居小学校を活用し交流会を行う。 〔時期〕年1回予定 〔場所〕鶺住居小学校 〔対象〕鶺住居地区住民
【成果と課題】			

防災や生活環境に関する学習	【新規】 鶴住居 防災学習	自然災害を正しく理解し、防災意識を高め自身の命を守る。	〔時期〕 年2回予定 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民ほか
	【成果と課題】		

5. 学びの場を充実するための事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
社会教育施設等の充実	施設の貸館	生涯学習活動の拠点として、公民館を活用する。	午前9時から午後9時まで、住民の申請に基づいて公民館施設を住民に貸し出す。 〔時期〕 通年（年末年始も貸出） 〔対象〕 生涯学習活動が目的の団体・個人等

6. 市民が主役の学び社会を目指した事業

施策	事業名	事業目的	事業内容（時期・場所・対象ほか）
生涯学習推進体制の整備	公民館運営審議会	公民館長の諮問に応じ、公民館の運営について審議会委員が審議する。	〔時期〕 年2回（5月中旬、2月頃） 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 公民館運営審議委員
	サークル代表者会議	自主サークル間の公民館利用日の調整を図るとともに、サークルの事業内容を理解する。また、公民館まつりの実施について調整する。	〔時期〕 年1回（7月下旬） 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 自主活動サークル代表者
生涯学習ネットワークの形成	公民館だより「うのとり」の発行	公民館事業等の予定や活動内容を周知して参加を促すとともに、地域会議の活動や生活応援センターの情報を提供する。	広報の発行に併せて地域内全戸に配付する。 〔時期〕 毎月1回 15日発行 〔対象〕 鶴住居地区住民
	自主サークル活動支援	活動を支援するとともに、公民館だより等を活用し自主サークルの活動を紹介し新たな参加者の拡大を促す。	登録団体：12団体 〔活動時期・内容・活動場所〕 別紙のとおり
	鶴住居地域会議との連携	鶴住居地域の状況に応じて、各種の地域団体と連携しまちづくりを進める。	〔時期〕 年2回予定 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 地域会議構成員
	【成果と課題】		

	ボランティア 団体等の受入	関係団体と連携し、各 種のボランティア団体 を受け入れ、地域を支 援する。	〔時期〕 随時 〔場所〕 鶴住居公民館 〔対象〕 鶴住居地区住民
	【成果と課題】		

7. 事業評価

① 事業評価と今後の課題

② 評価の手法

公民館主催事業・共催事業（保健事業）については、運営計画の目標を基準に以下の項目で評価する。

目標番号	評価項目	評価指標①	評価指標②	評価指標③
①	普及・啓発	講座開催数	参加者数	—
②				世代別の講座数
③				地域会議共催活動
④	団体の活性化	登録サークル数	活動参加者数	—
⑤	他団体との連携	連携団体数	連携した事業	—

③ 各評価項目の達成比率

評価基準	令和2年実績	令和3年実績	増減率
講座開催数(主催分)	61回		
参加者数(人数/1回)	13.7人		
子ども世代の講座数	16回		
大人世代の講座数	45回		
地域会議共催活動	12回		
登録サークル数	12団体		
活動参加者数(人数/1回)	8.2人		
連携団体数	8団体		
連携事業数	7事業		